

[11_02]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6768597>

出版情報：情報処理教育広報. 11 (2), 1988-12. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：



2. 前期から後期への切り替え

運転時間の項でも述べたように前期から後期への切り替え作業を行います。それに伴って、前期だけ、または後期から前期の通年の講義として登録されている課題番号（3桁目がXの授業用と学生用）とそれらに属するデータセットを消去しますので、10月14日（金）からは使用できなくなります。教官の方で前期に作成したデータセットを後期も続けて使用したい場合は、教官個人の課題番号（2桁目がZ）へ複写しておくか、10月13日（木）までにTOMTコマンドを使用してMTにデータセットを吸い上げ、次に必要になったときにTODAコマンドでディスクへ戻すようにして下さい。

現在消去予定の講義IDは次の通りです。

AA、AB、AC、EA、EE、EF、ER、GC、GD、GG、GH、GI、GJ、GK、HA、SA、SG、TA、TB、TC、TD、TF、TH、TI、TJ、TK、TM、TN、TP、TX

3. 後期の授業の登録受付

昭和63年度後期の授業登録を受け付けます。昭和63年度後期に情報処理教育センターを利用して授業を行う予定の教官は10月13日（木）までに情報処理教育センター受付に申請書を提出してください。10月21日（金）から使用できるように授業用の課題番号（3桁目がX）を発行します。

また授業計画を提出していないけれども情報処理教育センターを利用して新たに授業を行いたい場合は情報処理教育センター受付（TEL 2657）にご相談ください。

2. 講義・実習の利用計画書

今年も講義・実習の利用計画書を提出していただく時期になりました。つきましては、来年度（前期、後期）の計算機利用計画がありましたら、講義・実習の利用計画書（センター受付にて配布）に御記入の上、来る12月23日（金）までに本センター受付にて提出して下さるようお願いいたします。

センターでは、提出された計画書に基づいて利用時間表を次の方針で編成します。

- (1) 前年度と同じ授業科目で、来年度も同じ時間帯を希望する場合はこれを優先する。
- (2) 来年度より新たに開講する授業科目については、出来る限り希望にそうように努力するが、時間帯が競合する場合、あるいは計算機にかかる負荷から判断して同時には行えない講義が重なる場合等は当該部局と調整を行う。

また次の点については是非ご理解とご協力をお願いします。

- (1) 授業担当教官が当該学科の所属でない場合には、原則として授業を開講している学科から計画書を提出すること。
- (2) 講義場所の割り当ては、授業の形態と受講学生数に基づいて行うので、計画書には次の各部屋の定員を参考にして明確に書くこと。特に複数学科の合併授業などで定員を超過しないこと。

講義場所	端末台数	定員
センター講義室	40台	80人
センター小講義室	20台	40人
六本松地区端局	40台	80人
病院地区端局	16台	32人
文系地区端局	40台	80人

なお、毎年、講義数や受講者数が増加していますので、必ずしもご希望どおりの割り付けができない場合もありますのでご了承ください。不明な点や詳しいことは情報処理教育センターまでお問い合わせください（内線2657）。

また情報処理教育センターを利用して授業を行いたいが、時間割りの都合であきらめておられるようでしたら特にその旨情報処理教育センターあてにご連絡ください。